

秋の夜長はこの人の朗読

幸田弘子

450

1 舞台朗読の先駆者。落ち着きと情感を両立させた読み
に優れ、樋口一葉の作品や「源氏物語」が代表作

江守 徹

300

2 文学座俳優。声の強さ、張り、響き、会話部分のうま
さに定評。漢詩や時代物など朗読作品多数

長岡輝子

300

2 文学座で女優・演出家として活躍。同郷の詩人、宮沢
賢治の作品朗読の開拓者として知られる

橋爪 功

300

2 演劇集団「円」俳優。テンポ良い軽快な読みが魅力。
「三国志」や夏目漱石、芥川龍之介らの作品多数

奈良岡朋子

250

5 劇団「民藝」女優。心安らぐ温かみのある読みが特長
で、童話などの作品がある

大竹しのぶ

200

6 朗読時の姿の美しさ、言葉の明せきさが特長で、NH
Kで太宰治「走れメロス」などを朗読

岸田今日子

200

6 演劇集団「円」女優。独特の声で子どもから老女まで
自在に表現。太宰治の「ヴィヨンの妻」など作品多数

白坂道子

200

6 NHK札幌、東京放送劇団出身。女性に珍しい低音が
魅力。「源氏物語」など古典朗読の巧みに定評

鈴木瑞穂

200

6 安定した声と表現力に優れ、夏目漱石「夢十夜」、志
賀直哉「赤西蠣太」など多数

森繁久弥

200

6 ひょうひょうと、どんな作品を読んでも「森繁節」で
押し通せる個性豊かな読み

(注)敬称略、同順位は五十音順



幸田弘子さんは樋口一葉の
作品の朗読をライフワーク
としている

独自の世界を持つ個性派
のペダラン勢が上位に並ん
だ。朗読の技法や人材は日
本の場合、主にラジオ番組
からはぐくまれてきた。一
位の幸田弘子さんはNHK
東京放送劇団の出身だ。ラ
ジオから始めて半世紀。「舞
台朗読」という新領域を切

耳で味わう名作の世界

何でも ランキング

朗読の世界を持つ個性派
のペダラン勢が上位に並ん
だ。朗読の技法や人材は日
本の場合、主にラジオ番組
からはぐくまれてきた。一
位の幸田弘子さんはNHK
東京放送劇団の出身だ。ラ
ジオから始めて半世紀。「舞
台朗読」という新領域を切

上位に挙げた故人
(敬称略)

草野大悟	250
文学座出身。声に幅があり、 ユーモアからシリアスまで こなした。井伏鱒二の「乗 合自動車」などがある	
徳川夢声	250
明治から昭和にかけて活躍し た無声映画の弁士など放送 芸能家。ラジオ劇「宮本武 蔵」で一世を風靡(ふうび)	
宇野重吉	200
劇団「民藝」の創設者の一人。 人間味あふれる朗読が 特長。松谷みよ子の民話「こ ぶとり」などの作品がある	

り開いてきた。
ライフワークは今何かと
話題の明治時代の作家、樋
口一葉の作品だ。「美しい
文章、登場する女性の生き
生きとした様、そして一葉
の生き方」に引かれたとい
う。樋口家に足しげく通い
、一葉の日記を丹念に読み込
み、同台東区の一葉記念

調査の方法

朗読の指導者や朗読家、
演出家、放送作家、朗読
作品の多い俳優らに十月中
下旬にかけてアンケート
を実施。舞台やラジオ、C
Dなどで朗読作品のある、
優から評価する朗読者を五
人まで挙げてもらい、一票
を五十点としランキングし
た。専門家は以下の通り(五
十音順、敬称略)。
飯島晶子(朗読の窓「羅
馬」の「耳」主宰)▽
石原広子(「石原広子朗読
の会」主宰)▽五十田安希
(「五十田安希朗読研究所」
会長)▽岩淵達治(演出家)
▽大松幾子(朗読文化研究
所長)▽川和孝(演出家)
▽北川登園(演劇評論家)
▽草刈清子(NPO日本朗
読文化協会理事長補佐)▽
男玉朗(神田外語大「声の
ことばの勉強会」主宰)▽
阪崎(俳優)▽坂井清成(音
声表現学苑主宰)▽坂本和
子(朗読家)▽堀崎彦(俳
優・演出家)▽高橋俊三(群
馬大元教授)▽永井一郎(俳
優)▽成瀬芳一(舞台演出
家)▽西澤實(放送劇作家)
▽野間修平(フジテレビ元
アナウンサー)▽武蔵康
史(評論家)▽渡辺知明(コ
トバ表現研究所 主宰)

は重厚さを備え、特に漢詩
について「雄大な中国の風
景と作詩者の感動が伝わっ
てくる」(五十田安希・五
十田安希朗読研究所会長)
と評価が高い。
橋爪功さんは「作品に共
感しながら適当な距離を置
くよう心掛けていたが、難
しい」と打ち明ける。入れ
込み過ぎないのも大事。江
守さん同様テレビでも有名
で、芸風の説明は不要だろ
うが、ひょうひょうとした
語りの裏に様々な苦勞があ
る。江守、橋爪両氏のCD
は新潮社から出ている(江
守さんの漢詩は絶倫)。
五位以下も奈良岡朋子さ
ん、森繁久弥さんらペダラ
ンが名前を連ねた。森繁さ
んはいわずと知れた「森繁
節」。鈴木瑞穂さんは作品
全体を見通し、セリフと地
の文のバランスを作る読
み手だ。「作品の真つた
中を貫く理解の確かさ(朗
読家の坂本和子さん)に定
評がある。
白坂道子さんはきつぱり
した緊張感漂う読みだ。源
氏物語」や「平家物語」な
ど古典朗読ならこの人とい
われ、作家の阿刀田高、慶
子さん夫妻と「朗読21」の
公演を毎年開いている。
故人の中にも味わい深い
読み手が多い。草野大悟、
徳川夢声、宇野重吉の三氏
の名前が上位に挙げられた。
宇野さんの朗読は残念なが
らほとんど残っていないそ
うだが草野、徳川両氏の声
は新潮社CDで聴くことが
できる。